

第26回マイクロマウス東日本地区大会のご案内

2008.9

マイクロマウス委員会東日本支部
〒140-0002 東京都品川区東品川 4-5-15 (株)パナ
ソニック未来研究所 2F (財)ニューテクノロジー振興財団内
マイクロマウス委員会東日本支部事務局
Tel: 03-6744-5444(代) Fax:03-6711-5419

皆様いかがお過ごしでしょうか。今年もマイクロマウス東日本地区大会の季節となりました。マイクロマウス入門者にとっては、ハードウェアの製作、ソフトウェアの作成にいろいろと苦労してきたことと思います。また、中級者、上級者はより高度で速いマイクロマウスを目指し、努力を重ねてきたことと思います。ぜひ今回の大会でその成果を発表し、他の参加者と技術交流をしてください。より高いレベルに触れることで、自分のマウスの発展に繋がっていくことでしょう。

マイクロマウス競技会は、16×16区画で構成された迷路を走行する1977年にIEEE(米国)により提唱された自立知能ロボットの競技会です。日本では1980年より全国規模の大会が続くロボット競技会の草分け的存在です。マイクロマウス委員会東日本支部が開催する東日本地区大会は、回を重ね今年で第26回となります。今回もどんなマウスが出場してくるのを楽しみます。例年ように多数のご参加をお待ちしています。



第26回マイクロマウス東日本地区大会

開催日	2008年9月28日(日) 例年と異なります
会場	科学技術館 東京都千代田区北の丸公園2-1 www.jsf.or.jp
主催	マイクロマウス委員会東日本支部 財団法人ニューテクノロジー振興財団
共催	財団法人日本科学技術振興財団 www2.jsf.or.jp
協賛 (予定)	支部協賛企業
運営協力	芝浦工業大学ロボティクス研究室、芝浦工業大学SRDC、早稲田大学WMMC
競技	1. マイクロマウス競技 2. クォーターマウス競技 3. 東日本支部サーキット競技 【参加賞を用意しています】
問合わせ・ 参加申込先	芝浦工業大学 工学部 電気工学科 ロボティクス研究室(安藤研究室) 〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 TEL・FAX 03-5859-8210 E-mail: higashi2008@robotics.ee.shibaura-it.ac.jp http://www.robomedia.org/directory/jp/ntf-HP/mouse/sibu/higasi.html
参加費	一人2000円(学生1000円) (複数競技に参加可能です。会員、非会員同額) 参加者と補助者1名は無料で科学技術館に入館できます。応援の方は入館券をお求め下さい。
実施責任者	支部長 安藤 吉伸 (芝浦工業大学准教授)

<重要> 参加制限に関して

ここ数年、参加台数が非常に多く、予定時間内に競技が終わらない状態が続いています。そのため、競技に次の制限を設けることにしました。ご理解、ご協力をお願いします。

マイクロマウス競技：持ち時間を7分、5回の走行までとします。

(参加台数によっては10分または5分の持ち時間で5回の走行にします)

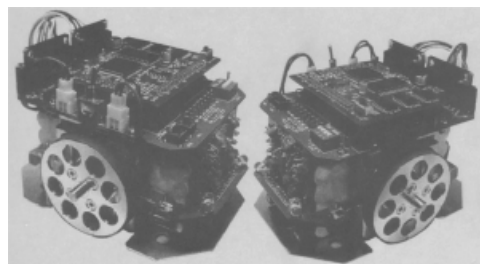
クォーターマウス競技：初心者のエントリーを優先します。

支部サーキット競技：持ち時間3分、走行回数を3回とします。

マイクロマウス競技と支部サーキット競技の上位者、特徴あるマウス製作者には、賞状や賞品を用意しています。マイクロマウス競技の優勝者には全国大会決勝へのシード権が与えられます。なお、参加者(迷路にマウスを置いた方)全員に参加賞を用意しています。

スケジュール

9:30 ~	9:40	受付
9:40 ~	10:00	開会式・ルール説明
10:00 ~	11:15	クォーターマウス競技
11:15 ~	12:00	休憩
12:00 ~	14:40	マイクロマウス競技
14:40 ~	15:30	支部サーキット競技
16:00 ~		表彰式・閉会式



競技はA、Bの2面の迷路を利用して行います。出走3台前には迷路横の控え席で準備してください。円滑な進行にご協力をお願いします。

東日本支部マイクロマウス・クォーターマウス競技規定 ()内は、クォーターマウス

1. スタートからゴールまでの走行時間を競う
 2. 持ち時間は7分間、参加台数によっては10分または5分、回数制限5回(5分、回数制限5回)
 3. ROM、電池、その他の部品交換不可(クォーターマウスは可)
 4. ゴールは16×16の中心の4区画である(8×8のスタートと対角側にある1区画)
 5. ゴールでは止まらなければならない
 6. マウスはCPUを使用しなくてはいけない
 7. マウスは壁を壊してはならない
 8. マウスは壁を乗り越えてはならない
 9. スタートセンサの位置を横切ったら計時開始とする
 10. 探索または最短走行後、ゴールセンサを横切ったら計時終了とする
 11. スタートは停止状態からとする
- 詳細はマイクロマウス委員会規定のルールに従います。

クォーターマウスは16×16区画の迷路のうち8×8区画(4分の1)を利用する競技です。ゴールまでの走行時間を競うのではなく、マウスがゴールに到達できることを認定する競技です。

- ・ジュニアクラス：一度でもゴールに到達したマウス
- ・シニアクラス：2次走行で最短経路を割り出しゴールに到達したマウス
- ・エキスパートマウス：2次走行で最短経路を割り出し、一度も停止せずにゴールに到達したマウス。1区画1秒以内の走行速度で走り、壁に接触せず優美な走行をすることも要求される。

東日本支部サーキット競技規定

1. 時計周りで外周2周の時間を競う
2. 持ち時間は3分間、回数制限3回
3. ROM、電池、その他の部品交換可
4. ゴールでは止まらなくても良い
5. マウスはCPUを使用しなくてはいけない
6. 迷路の内側の壁が数ヶ所抜けている
7. マウスは壁を壊してはならない
8. マウスは壁を乗り越えてはならない
9. スタートとゴールのセンサ位置はマイクロマウス競技のスタートのセンサ位置と同じとする
10. スタートセンサの位置を横切ったら計時開始とする
11. 2周後、スタートセンサを横切ったら計時終了とする
12. スタートは停止状態からとする

支部サーキット競技は16×16区画の迷路の外周を2周する競技です。

第26回マイクロマウス東日本地区大会参加申込書

参加申込競技 参加競技に 複数可	1.クォーターマウス競技 (台)
	2.マイクロマウス競技 (台)
	3.支部サーキット競技 (台)
ふりがな	
製作者名	
会員の種別*	東日本支部会員 (一般・学生・グループ) ・ 一般参加 (会員以外)
ふりがな	
グループ名	
代表者名	
連絡先住所 (グループ代表者) 学校・勤務先・自宅	〒
	TEL
	FAX
	E-Mail
参加費支払*	当日現金 ・ 郵便振替 ・ 銀行振込 (振込人名義 :)

*の箇所は該当するものに 印 (WORD の場合は 囲み線) をしてください

大会へのご意見・ご要望・意気込みなど

このページの情報は大会案内の発送など運営のためのみに使用します。
 参加者と補助者 1 名は無料で科学技術館に入館できます。応援の方は入館券をお求め下さい。
 申込書は 1 人 1 枚記入して提出してください。ロボットの仕様書は 1 競技 1 枚 (1 台ごとに) 記入してください。

ロボットの仕様

参加競技ごとに1枚ずつ書いて下さい

参加競技名							
ふりがな 製作者名						グループ名： (学校名)	
大会参加経験*	有・無	大会参加年数	年	入賞経験*	有・無		
ふりがな マウスの名称 (15文字以内)							
マイクロ ^o ロッタの種類 メモリ容量、クック周波数など		ROM:	kByte	RAM:	kByte	Clk:	MHz
開発環境 (言語、コンパイラ、パソコンOSなど)							
マイクロマウス、クォーターマウス 探索方法 印		求心法・左手法・右手法・足立法・その他 ()					
電池の種類・本数							
駆動方式 印		ステッピングモータ・DCモータ・その他				個数:	個
(詳細:)					
車輪 径・幅・数		直径	mm	幅	mm	個	
センサの種類・個数							
外形寸法・重量		W	mm × D	mm × H	mm、	g	
特徴 (写真やイラストを 入れても構いません)							

以下の行は提出時に削除して構いません。

WORDをご利用の方へ： 印の箇所は該当箇所を線で囲むか、非該当項目を削除してください。

<重要：技術交流にご協力下さい!!> マイクロマウス作りに取り組んでいる方は、ほかの人がどのようなマウスを作っているのか、自分のマウスをより良いものにするためにどんな技術が必要なのか知りたいと思っている方が多くいます。ロボット作りに取り組む皆さん相互の技術交流につながるよう、このページを参加者に皆さんが控え室で閲覧できるようにして用意しておく予定です。ご承知おきください。また、この仕様書の内容やマイクロマウスの写真を、支部ニュース、支部ホームページにて技術資料として紹介することもあります。合わせてご承知おきください。